

空き家 見学会 & 相談会

2/11 水・祝

見学 14:00~15:30
相談 15:30~

借りられるかもしれない空き家
まだ貸すか決めていない空き家
を見せてもらいます。まちの歴史や
空き家を活用したお店の紹介も
します。見学会の後、空き家
を活用してやりたいことについて
個別でお話しをします。



安東 真生 あんどう まさき
R-DEPOT スタッフ

信州大学建築学科卒。R-DEPOT社員
として、善光寺門前で事業を始めよう
とする人のサポートをしている。建築が
好きで空き家をかっこよく活用したい。
趣味はカメラ。

空き家
こぼれ話

空き家にも色々あり、昔お店を営んで
いた通り沿いの建物などは、裏に大家さんが
住んでいることも多いです。最近お話し
した大家さんからは店はやっていないけど
物置として使っているという事情を聞きました。
これまでも何度か同じような事情を
伺ったことがあるので、大家さん事情として
はよくあることかもしれません。

参加募集

集合：まち暮らしたてもの案内所 (R-DEPOT内)
参加費：ながの門前まちあるき 1,000円 (U22 無料)
空き家見学会相談会 500円 (U22 無料)
定員：各10名 ※要申込
申込み：☎026-219-2280 ✉info@r-depot.com
(月曜休)

ながの門前 まちあるき

2/26 木

15:00~17:00

門前で暮らす人や働く人が
それぞれの視点でお店や
たてものや暮らしを
案内します。

東西鶴賀エリア

東西鶴賀エリアの
飲み屋さんたち

vol.236 東西鶴賀乾杯マップ

ゲストハウス hop in. を始めるきつ
かけになった東西鶴賀の飲み屋さん。
オリジナルの「東西鶴賀乾杯
マップ」を片手に、今夜おすすめのお店を
独断と偏見で選びます！
hop in. も紹介します！



村上 さくら むらかみ さくら
Guest House hop in.

長野市に移住して2年。物件探しで歩き
回中、西鶴賀・東鶴賀に出逢いました。
足しげく呑みに行くようになり、人やま
ちの空気に惹かれ、この春3月、東鶴
賀に「hop in.」をオープンします！

窓口開設中！
◎R-DEPOT



いろんなこぼれ
話にきてみて

例えば...

- ・長野に住みたい
- ・お店をはじめたい
- ・家財を引継ぎたい
- ・場所がほしい
- ・にぎわいをつくりたい
- ・アイデアがほしい

場所：長野市西後町 610-12 R-DEPOT

時間：10:00~17:00 (月曜休)

問：☎026-219-2280 ✉info@r-depot.com

「まち暮らしたてもの案内所」は
長野市中心市街地遊休不動産活用事業*
の一環で官民連携により実施しています。

*長野市中心市街地遊休不動産活用事業
(2015年~)

【主催】長野市中心市街地活性化協議会
【問合せ】事務局 駒まちづくり長野
(電話 026-267-5323)

【プロジェクト】

◎西鶴賀町エリアリノベーション (2020年~)
拠点 / 9軒長屋
協働 / 長野県建築士会ながの支部

◎石堂町エリアリノベーション (2022年~)
拠点 / まちかど図書館ぼたん
協働 / 長野県立大学 築山ゼミ

◎まち暮らしたてもの案内所 (2024年~)
拠点 / R-DEPOT
協働 / R-DEPOT

発行：まち暮らしたてもの案内所

まち暮らし たてものの会議

まち・暮らし・たてもの、それぞれの専門家がいたり、いなかったり。空き家・空き地の活用を中心に、まちの催しやこれからできるお店のこと、面白い人のことなどいろいろな話をします。いろんな人に参加してほしいです。



第36回
2/13金
16:00・17:00

サカナギゲストハウスに
行ってみよう！

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料

リノベーションスクラップ
ペーパー第2弾完成

... etc

第37回
2/27金
16:00・17:00

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料



議題

空き家仲介のノウハウ

参加者：6名

第32回

12/12

遊休不動産活用事業を通じて空き家仲介の事例が増えてきました。一方で、その過程を記録に残したり、引き継いで伝えていく難しさを感じています。話し合いの中では、冊子でまとめるよりも、講評会の様な展示形式で直接伝えて意見交換する場があると良いのではないかと結論に至りました。

議題

来年の遊休不動産活用
事業について

参加者：8名

第33回

12/26

年内最後のまち暮らしたてもの会議。長野市お祭り課さん、まちづくり長野さんを含めて、今後の遊休不動産活用事業の内容について話し合いました。精進から組織体制や取り組み内容が変わりそうです。空家のリノベーションが蓄積されてきた息あふれる長野市とどのように見せていくか、来年のキーワードになりそうです。



まち暮らしたてもの 案内所便り

2026

2月

まちでくらし、
まちを歩いて、
まちのことを話す
わたしたち

